

愛知名古屋 MICE 推進協議会 JAPAN MICE セミナーに参加！

シンガポール事務所

2018年10月16日（水）に、愛知名古屋 MICE 推進協議会がシンガポールを訪問し、JNTO 主催の JAPAN MICE セミナーに出席しました。

日本への MICE 旅行誘致拡大を図るため、現地の訪日 MICE 旅行取扱旅行者（シンガポール側バイヤー）との商談会を実施する場が提供されました。

1 プレゼンテーション

Ion Orchard 56 階の ION SKY の非日常的な空間において、日本側の出展者（セラー）である、自治体・コンベンションビューロー及び訪日観光関連事業者から、英語でのプレゼンテーションが行われました。各プレゼンターは、地域の MICE 会場や宿泊ホテルの魅力、利便性及び優位性を、迫力のある映像と音響とともにアピールする一方、アフターMICE で楽しむことのできる、その地域の特色を活かした観光コンテンツを紹介していました。

2 商談会

続いての商談会では、バイヤーが興味のあるセラーブースに自由にアプローチ可能な、セラー側固定型の自由商談形式が採られました。1セッション15分間の商談時間が設定されていましたが、ブース移動の合図があっても、セッションが盛り上がり、席を離れないバイヤーも見受けられました。

愛知名古屋 MICE 推進協議会のブースにも多くのバイヤーが訪れました。国内初の空港隣接の愛知県国際展示場（来年9月に完成予定）や、総木曾檜づくりの能舞台がある「名古屋能楽堂」を始めとするユニークベニュー、中部国際空港セントレアに新たに誕生したボーイング787初号機の展示をメインとした複合商業施設「フライト・オブ・ドリームズ」に対しては、収容人数や利用料金を何度も質問されるなど、バイヤーから強い興味を示されました。



【商談会の様子】



【クイズアトラクションの様子】

3 所感

MICE 市場は、その地域に巨大な利益をもたらす可能性がある一方で、会場、ホテル、観光コンテンツは、どの国・地域にもあり、「他との違い」を明確にアピール出来なければ、誰からも見向きもされない非常に厳しい市場です。

今回のセミナーでは、ハード的に劣っていても、見せ方を工夫することで、バイヤーの興味をうまく引いている場面を見ることができました。伝えたいこと、強みをフォーカスして表現していたプレゼンテーションは、必ずしも英語自体がうまくなくても、明らかにバイヤーから良い反応を得ていました。

海外では小学校低学年からプレゼンテーションの授業が行われるなど、「伝える力」が高く評価されます。せっかくの素晴らしいコンテンツを効果的に伝えるためには、「英語でプレゼンテーションをした」だけで終わらせず、ハード整備と同様に、「伝える力」も整備することが求められています。



(松井所長補佐 愛知県派遣)